

いわた羅針盤

ら しん ばん

2020年
5月号
5/1発行

No.75

令和2年2月定例会



令和2年度一般会計予算を一部修正・可決

特 集

Uターン就職者に聴く

CONTENTS

- P2 特集 Uターン就職者に聴く
- P4 2月定例会議案審議
- P8 委員会審査
- P11 一般質問(12人)
- P17 インフォメーション①
- P18 ご意見紹介
- P19 トピックス・インフォメーション②
- P20 審議結果 ほか

特集

Uターン就職者に聴く

本市では、多くの若者が進学や就職を機に転出しており、特に中小企業等では、人材確保に苦慮する状況が続いています。今回の特集は、市内在住のUターン就職をした若者4名に、そのきっかけや魅力などについてお話を伺いました。(取材日：令和2年1月27日)

(聞き手：市議会建設産業委員会 芦川和美委員長、永田隆幸副委員長)



ふじた あゆみさん
サゴエエンタプライズ株式会社勤務



あおしま ゆうま
青島 佑馬さん
中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社勤務



おかもと かな
岡本 菜奈さん
株式会社ヨタレンタリース浜松(磐田駅前店)勤務



かねこ けん
金子 研人さん
ススキ株式会社勤務

——磐田市に戻られたきっかけを教えてください。

岡本 社会人になると慣れない環境で精神的・肉体的に大変なところもあると思いました。実家に戻り、家族や友人がいる中で就職をしたほうが、気持ちに余裕が持てると考えました。



岡本 菜奈さん

金子 ジュビロ磐田が小学生の頃から好きなので、地元に戻って、より近くでサポートしたいと思いました。また、ものづくりが盛んな地域の中で、仕事として携わって地域の発展に少しでも貢献できたらと思いました。

フェアなどを頻繁に行えば、魅力的な企業を知る機会もふえてくると思います。インターンシップに行く就職に強いので、その時期なども広報やSNSで知らせてほしいです。市内の企業で、営業や工業系など、分野ごとにまとまっているサイトがあれば、学生も探しやすいです。

——市議会や行政に期待することはありますか。

青島 地元の小学校がなくなるのはさみしいので、少子化対策をがんばっていただきたいです。



青島 佑馬さん

藤田 昨年のニュースで子育て支援センター4カ所が今年3月に廃止され、今後2カ所できると聞きました。その後、4センターの廃止は最低1年間凍結することになりましたが、子どもや赤ちゃんがいる子育て世帯に寄り添ってほしいです。

岡本 たとえば、進学するために塾に

藤田 帰省するたびに地元が恋しくなり、地元で携わる仕事がしたいと思いました。就職したホテル・観光業は、地元をいろいろの方に発信できる場があるところに魅力を感じました。



藤田 あゆみさん

青島 地元で体育教師になり、野球部の監督をして全国大会に出るプランを考えていましたが、挫折しました。ひとり暮らしをしながら仕事をするより、実家に戻って仕事をすれば、生活に余裕が生まれ、友人と野球もできると思いました。

——就職した会社の魅力は何ですか。

青島 高速道路でパトロールをして、障害物を拾ったり、事故対応など、人の安全を確保する仕事なので、とてもやりがいを感じています。

金子 自分がかかわった製品が市場に出て、お客さんが乗っているのを見ると、やりがいや達成感があります。

通うと費用が大きいなど、子育てにお金がかかるので、子育てする環境にも力を入れてほしいです。
金子 東京オリンピックでは、卓球の水谷・伊藤両選手が出場しますので、磐田にかかわるスポーツ選手、チームについて、市全体で一丸となって応援していただきたいです。



金子 研人さん

——今回、貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございます。皆さんのお話からは、「磐田市への愛」「両親への感謝」「先輩への敬意」が感じられました。
私たちが気付かなかった視点「市内企業の就職案内が多くの学生に届く仕組み」のヒントをいただいたので、今後、Uターン就職しやすい環境整備に努めてまいります。これからも、私たちと一緒に、磐田市のPRをお願いいたします。

藤田 勤務先のホテルは、浜名湖のすぐ近くで夕日が沈む瞬間がとてもきれいです。フロントは、お客様から「これが良かった、これがおいしかった」と直接聞くことができる職場なので、大変やりがいがあります。
岡本 磐田店での車のレンタルは、一般のお客様だけではなく、地元企業や福田・竜洋の工業団地に行くビジネス

マンも多く、急な予約でもすぐ車の手配ができるので、そういう面では地域貢献できていると思います。
——皆さんが利用したUターン促進奨学金返済支援補助金以外に必要と思う支援があれば教えてください。

全員 市内の中小企業に限定した就活

2月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信 検索



議案審議

会期 2月20日～3月24日(34日間)

令和2年
2月
定例会

令和2年度各会計予算を審議

2月定例会では、一般会計をはじめとした令和2年度各会計予算について審議したほか、一般議案23件、人事議案1件を審議しました。なお、全ての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記(人数)
※2年3月24日現在
「志」 志政会(12)、
「新」 新磐田(4)、
「き」 きずなの会(4)、
「共」 日本共産党磐田市議団(2)、
「公」 公明党磐田(2)、
「社」 社民・明るい暮らしの会(1)

議案
第6号

令和2年度一般会計予算

2年度一般会計予算は、元年度に比べ、0.5%増の669億7千万円となりました。ながふじ学府一体校や(仮称)磐田市文化会館の整備を引き続き進めるほか、新たに今之浦市有地等の公園整備、豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備などを進めます。

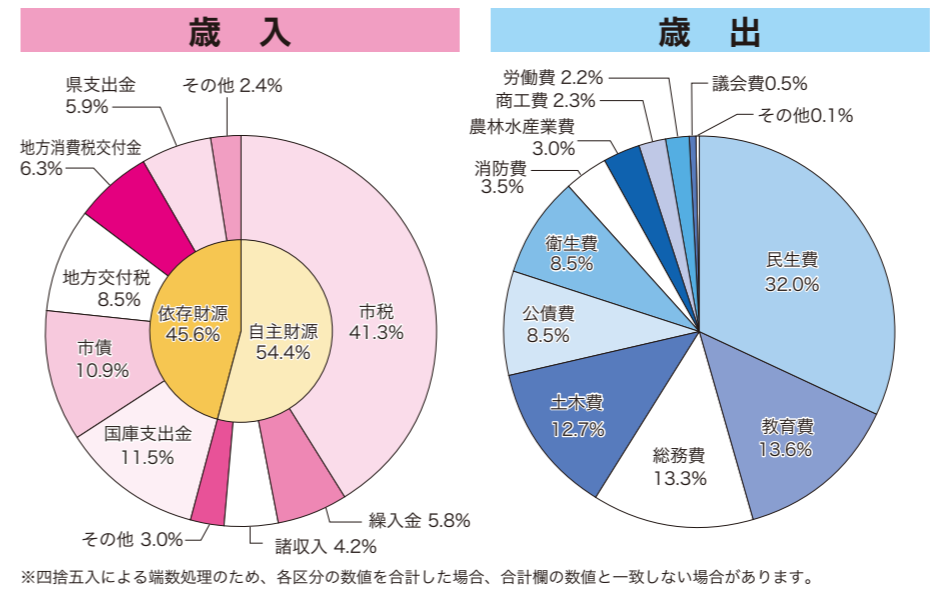
幼児教育・保育の無償化の影響や障がい児等に対する福祉サービスの増などにより、4年連続で最大の予算規模となりました。

(2年度一般会計予算に対する修正案)
(修正部分を除く原案)

賛成…志・新・き・公・社
賛成…志・新・き・公・社
反対…共
反対…共

賛成多数で
修正可決

【令和2年度一般会計予算額】 669億7,000万円



2年度の主な事業

- 子育て支援・教育の充実**
向陽学府一体校の基本構想・基本計画、東部地区子育て支援センターの建設、里親への支援制度の創設、病児保育の開始など
- 市民生活の安全・安心の確保**
豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備、被災者生活支援補助金の創設、重度身体障害者・難病患者防災用具給付制度の拡充など
- 地域づくりの推進と福祉の充実**
(仮称) 竜洋西会館の建設、終活おうえん窓口の開設、高齢者の補聴器購入助成制度の創設、認知症高齢者等の損害賠償責任保険制度の導入など
- 産業の育成と都市基盤の整備**
今之浦市有地・今之浦公園の一体的な公園整備、磐田市情報館のリニューアル、特産品(海老芋)継承事業の実施など

【修正案を可決】

3月17日に開催された予算決算委員会において、「一般会計予算のうち、『みんなで考えよう食と学校給食』食ありがとう月間』事業に係る事業費を組み替える修正案が2つ提出されました。

みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」事業の概要

食品ロスの削減に向けた世界的な取り組みが進む中、小学生のころから食や学校給食のありがたさ、大切さ、食育の重要性等を見守り・保護者・家庭等で考え、再認識するための環境づくりを進めるとともに、進級・進学等で保護者の経済的負担が大きい時期に、少しでも市として応援の気持ちを届けるため、4月を『みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間』』と位置づけ、小学校給食費の1ヵ月無償化に取り組み事業。

【修正案趣旨説明①】

予算設定の中での政策形成過程が不明瞭、財政的な見通しの検討が不十分とみられるものが複数見受けられ、説明も十分に尽くされたとはいえない。特に修正が必要と考える、みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」事業にかかる予算案について修正案を提出する。

提案理由として、政策形成過程、市民要望、ニーズ等が不明瞭であり、かつ食品ロス、食育の重要性の再認識、子育てに対する経済的支援等、事業の目的が複数存在し、主たる目的が確定されておらず、事業の制度自体がまだ未成熟であると考えられる。また、財政面においても、大きな事業が続く本市の財政や、市を取り巻く経済情勢等を勘案すれば、事業費が年間約4000万円、これが今後恒常的に大きな負担になることから、将来的に大きな負担になることが懸念される。

きずなの会 小栗宏之 議員

【修正案趣旨説明②】

みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」事業の修正の理由について、①保護者の負担を減らすことが子どもたちの感謝の気持ちに明確につながるのか不明瞭である。②食育の推進は学校内で十分に啓発されており、食品ロスの観点からも残食率が低い点で既に十分推進がされている。③平成30年2月公表の子育て世帯の生活に関する実態調査報告書では、小学生の子どもを持つ保護者の希望する支援は、進学にかかる費用の負担軽減、子どもを預かる施設整備等が上位であり、給食費に関するものは出てこない。この事業を選択した理由や根拠も不明瞭である。④令和元年11月の学校給食運営委員会で食材の高騰から給食費の検討が必要とされている中、給食の全体像や質や量、金額などの検討ではなく、なぜ無償化が検討されたのか過程も不明確である。

⑤給食費の経済的支援を固定化してしまふものであり、継続されればそれ以上の発展はなく、給食費の検討の議論が進まないことである。⑥政策形成プロセスにおいて丁寧さが欠ける点がある。

志政会 小池和広 議員
新磐田 芥川栄人 議員
公明党磐田 江塚 学 議員

一般会計予算(第1条第2項第1表歳入歳出予算)の修正案

歳入		当初予算案	修正案	増減
15款	国庫支出金	77億3236万4千円	77億3263万0千円	26万6千円
19款	繰入金	39億5150万1千円	39億1143万3千円	△4006万8千円
21款	諸収入	28億598万5千円	28億4578万7千円	3980万2千円

歳出		当初予算案	修正案	増減
10款	教育費	91億1017万8千円	91億1353万4千円	335万6千円
13款	予備費	1億0万0千円	966万4千円	△335万6千円

2つの修正案の趣旨説明後、修正案の内容が同一であったため、それぞれの提出者に内容を確認、調整した結果、提出した修正案を一度取り下げることと決定し、新たに一つにまとめ直した修正案が提出されました。

続いて、提出者に対する質疑、討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決されました。

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

■委員長：高田正人 ■委員：議長を除く全議員
■副委員長：絹村和弘

2年度一般会計予算

【歳入1款 市税】
問 法人市民税の今後の見通しは。

答 コロナウイルスによる円高や株価下落など、国内だけでなく海外の状況も考えていかなければならない。市内企業の決算やコロナウイルスの終息時期によって、状況が変わるため、現時点では、はっきり言えない。

【歳入18款 寄附金】

問 ふるさと納税寄附金について、5億円予算措置しているが、詳細は。

答 半分の2億5千万円は返礼品等の事務経費に充てられ残り2億5千万円は、子育て教育関係の施策へ2億円、津波対策関係の施策へ5千万円積み立てる予定である。寄附金の積み立て先については、市の重点施策から選択をして、見直しが必要な時点において変更していく。

【歳入22款 市債】

問 合併特例債の状況は。

答 起債可能額が522億円
せ支援の交付金として、年間で最大90万円を予定している。研修終了後スムーズに就農できるように、農地の確保や農業用機械など関連する承継支援も行っていきたい。



海老芋

【歳出8款 土木費】

問 今之浦市有地等公園整備事業について、整備にあたり、公園としての利用のほかに別の活用方法は考えているのか。

答 イベントでの活用や災害時の一時避難場所にもなる



今之浦公園と今之浦市有地

に対し、元年度末で累計起債額が294億円となる見込みである。臨時財政対策債の借入総額の見込みは約440億円であり、2年度予算では、発行可能額と同額の18億円を借りる予定である。

【歳出2款 総務費】

問 コミュニティ施設整備費補助事業の条件は。

答 築10年が経過した公会堂が補助対象であり、今回13件の要望があったが、予算の範囲内で建築年の古いほうから6件を計上した。

【歳出3款 民生費】

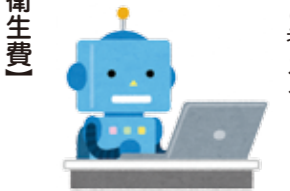
問 養護老人ホームとよおかの状況について伺う。

答 新たな入所は元年度末で終了し、現在の3市町38名の入所者には、それぞれの措置元が新たな転所先を入所者や家族と協議しながら、4月以降に転所を進めていく。

問 保育園の入園調整に活用するA-1(人工知能)の導入について伺う。

答 職員の作業負担の軽減や正確性、平等性が図られ、事務の安定化につながるため、

必要な導入だと考える。



【歳出4款 衛生費】

問 骨髄移植ドナーへの助成制度の詳細は。

答 対象者は、骨髄バンク事業のドナー登録者で、骨髄等の提供を完了した方である。助成金額は、1日につき3万円、7日間を限度としている。事業所へ支給している自治体もあるが、本市は個人のみである。また、提供者個人で加入している生命保険等から支給があっても、この助成制度は利用できる。

【歳出6款 農林水産業費】

問 海老芋承継事業の内容は。

答 市内に居住で就農時の年齢が原則50歳未満のやる気のある、次世代を担う人材を対象に技術の習得をする研修を実施していきたい。研修期間は、1年単位で最長2年としている。また、研修生には、国の交付金のほか、市単独の上乗

考えている。

問 今之浦市有地及び公園の市内・市外含めた利用予測人数は。

答 都市公園実態調査の推計によると、休日の推定の来園者数は、公園・市有地を合わせて2千人ほどとなる。また、雪まつりのときは、実績に基づき7500人ほどの利用と予測している。

問 新型コロナウイルス感染症などにより、経済状況も不透明感が増している。本整備事業は、市債を増やして実施するほど、市民にとって緊急性があるのか。

答 現在、今之浦市有地の活用の度合いが中途半端であり、早急に整備することによって、相乗効果を図りたい。また、にぎわい創出の点からも必要な時期だと判断している。

【歳出10款 教育費】

問 外国人児童生徒初期支援教室「N-1」の取り組みは。

答 入国する時期により、人数が多くなることがあることを見越し、2クラスにして対応がとれるよう、支援員の配

置や教室の確保をしていきたい。

問 みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」事業の趣旨は。

答 子育て支援策として、食育と経済的な支援の二つの柱で実施する。食育では、義務教育の早い段階から継続的に食の大切さ、ありがたさを考えることで、規則正しい食習慣を身につけるなどで食育の推進を図る。経済的支援では、小学生を抱える保護者の経済的な負担に対して給食費を公費負担とすることで、みんな子どもたちの成長を応援している気持ちを伝え、家庭でも食を考えるきっかけにしてもらう。貧困対策ではない。

問 この事業の目的の一つである食育の推進は、どのように図るのか。

答 年度初めの4月に子どもたちに説明をし、家庭宛てにわかりやすい事業の説明資料を配布する。3月末には食に感謝する資料を保護者宛てに作成し、PTA総会で保護者に説明をしたい。また、食育は年間を通じて今までどおり推進したいが、毎月発行して

総務委員会

■委員長：山田安邦 ■委員：江塚 学、草地博昭、加藤文重、寺田辰蔵
■副委員長：秋山勝則 高梨俊弘、岡 貴

市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

問 配布するビラの枚数制限を4000枚とした理由と手続きについて伺う。

答 公職選挙法に基づいて、4000枚としている。手続きの流れは、原稿を選挙管理委員会へ提出し、内容確認後に、証書が発行されるため、その証書を貼って配布する形になる。

情報館条例の一部改正

問 情報館のリニューアル後に設置されるイベントスペースの利用期間を7日間とした理由は。

答 現在あるイベントスペースの利用期間を7日間としているため、それに合わせて設定した。イベント内容によっては、利用期間の延長も考えられている。

民生教育委員会

■委員長：鈴木喜文 ■委員：鈴木正人、鳥居節夫、絹村和弘
■副委員長：小池和広 松野正比呂、高田正人、根津康広

市立保育園条例の一部改正

問 子どもたちへの円滑な引き継ぎの考えを伺う。

答 引き継ぎ法人が決定した後、引き継ぐ法人の職員が園の行事等にも参加し、子どもたちと触れ合う機会を設けたり、具体的に保育の中に入り、引き継ぎを継続して行い、いきなり先生が変わることを避ける対応をしている。

意見を付しての賛成討論

公的責任を直接果たす意味合いや職場の声を生かして、本市の施策に反映させる点で、民営化推進には賛成できない。一方、質疑で保育内容を引き継ぎ、待機児童の多いゼロ歳から2歳の受け入れの充実、看護師の雇用、開所時間の延長等、一定の改善が図られていることが明らかになった。保護者や地域への説明も行い、民営化に対して同意も得ており、総合的に判断し、意見を付して賛成する。

予算決算委員会

委員長：高田正人 委員：議長を除く全議員
副委員長：網村和弘

いる食育だより「ミニやぶ」で啓発するなど、食事バランスをとることを基本として早寝・早起き・朝御飯をしっかり食べるなど、食の大切さを伝えていきたい。
問 食育と給食費の無償化はどうつながるのか。
答 今回、子育て支援策として行う。経済的支援も含め、生活支援や食の支援も子育て支援策の一環と考える。経済的支援と生活支援、食の支援を柱にして行うことが本事業の目指すところである。

2年度国民健康保険事業特別会計予算

問 保険税率検討のスケジュールは。
答 県と市町が保険料水準の統一に関する協議を進め、2年の夏ごろに方向性が出てくる。その後、国民健康保険事業の運営に関する協議会へ諮問する。2年度は5回会議を予定し、3年度まで時間をかけて答申してもらう予定である。

2年度後期高齢者医療事業特別会計予算

問 フレイル対策の取り組みは。
答 今まで特定健康診査を受けた方々に特定保健指導等で74歳まで支援をしていたが、介護予防の一環として、75歳以上になっても、保健指導を継続して実施していく方向性で、国が取り組みを始めていて、本市でも新規事業として、健診を受けられた方の個別支援としてハイリスクアプローチと、地域の中で閉じこもりなどにより虚弱になっていく方々に対し、地域資源を利用して閉じこもりにならないようポピュレーションアプローチを組み合わせた事業を計画、実施していく予定である。

2年度下水道事業会計予算

問 排水区域面積について、今後の計画と最終処理面積の目標は。
答 毎年30ヘクタールから40ヘクタールの整備を進め、8年度までに最終的に汚水処理人口普及率95%以上を目標としている。

2年度病院事業会計予算

問 医師の働き方改革への取り組みは。
答 今後、国や県から医師の働く時間の上限が制限されてくる。現在、時間外勤務に対して一律に手当を支給するのではなく、時間外手当を支給している。そのデータを収集して実態把握に取り組んでいる。

用語解説

※1 フレイル 健康な状態と要介護状態の間に位置し、加齢とともに運動機能や認知機能等が低下した状態のことです。
※2 ハイリスクアプローチ 健康障害を引き起こすリスクのうち、まだ高リスクを抱えていない集団に対して、そのリスクを下げるよう働きかけ、病気を予防する支援のことです。
※3 ポピュレーションアローチ 健康障害を引き起こすリスクのうち、まだ高リスクを抱えていない集団に対して環境整備や講習などで働きかけ、集団全体のリスクを軽減したり病気を予防する支援のことです。

建設産業委員会

委員長：芦川和美 委員：小栗宏之、戸塚邦彦、小柳貴臣
副委員長：永田隆幸 芥川栄人、虫生時彦、増田暢之

自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

問 条例を作成する際、他市の事例を参考にしたのか。また、本市独自の考え方がこの条文に入っているのか。さらに、建設済みのものにも、この条例が適用できるのか。
答 県内では、伊東市、島田市、藤枝市などを参考にしている。特徴としては、地元自治会との協定を必ず結ぶとした点である。適用は、施行期日である令和2年6月1日以降に着工するものに限定している。

地元自治会との協定の締結

問 条例で地元自治会との協定を締結しなければならないとあるが、自治会はどのような手続を踏む必要があるのか。
答 地元自治会との協定の締結にあたり、説明会は自治会が主導するわけではなく、事業者の主導で自治会に説明会を持ちかけることになると思う。また、協定書の内容については、市でひな形を準備し、不安な点や質問があれば、相談窓口を設置したいと考えている。

市政を問う

一般質問

要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。2月定例会では12人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

磐田市の施策について / 防災・減災について / 地域の諸課題 / これからの農業



一括質問

志政会 小柳貴臣 議員



市の施策

問 こども・若者相談センターの現状と成果を伺う。

答 こども相談、女性相談、若者相談では電話や来庁での相談対応を行った。若者相談では1月末までに61件の相談を受けた。一つの家庭で複合的な事象や要因がある場合も多く、三つの相談を一括し、相談員が連携し、関係機関も巻き込んだ支援ができています。



iプラザにある、こども・若者相談センター

問 児童虐待の対策の現状を伺う。

答 専門員として教員や保健師等の有資格者を配置し体制を強化したことで、小中学校や子どもを見守る現場から心配な案件が多く寄せられた。1月末時点で188の家庭に対し、関係機関と連携し対応

地域の諸課題

問 地域づくり協議会の現状と今後を伺う。

答 団体の総会等の協議会への集約や、一括交付金による負担軽減等やお金の見える化が図られた。地区自治会との役割がわかりにくいとの声もあるため、見直す必要性があると認識している。自治会連合会三役で今後の組織のあり方の議論を重ねている。2年度には理事会でも協議をし、方向性を決めたい。

これからの農業

問 茶のブランド化の現状と課題を伺う。

答 まずは茶産地である市内外に知ってもらうことが重要で、お茶の魅力発信や販路拡大等、関係機関と連携してPRを行っていききたい。



農業政策

問 本市の農業を、産業としてどう考えているのか伺う。

答 本市はあらゆる作物に適した地域で、物流の面でも恵まれ、露地栽培等多様な農業が可能な地域であり、製造業に続く基幹産業にしたい。

問 担い手育成の取り組みを伺う。

答 高齢化が進み栽培農家が減少傾向にあるため、今年度県や農協等の関係者で課題を共有する、遠州中央農業振興連絡協議会を立ち上げ、意見交換を重ねている。2年度から海老芋栽培の承継事業を予定しており、今後でもできる範囲内の支援を行う。

問 茶業経営継続のための本市の取り組みを伺う。

答 お茶の魅力発信や、いわた茶缶の販路拡大等、本市が産地であることを知ってもらう取り組みを行っている。また、遠州中央農業振興連絡協議会で茶工場を訪問し、今後の農業経営等意見交換を行っている。相談があれば、できる範囲内での支援を行う。

教育

問 向陽学府一体校の検討会について伺う。

答 基本構想、基本計画策定に当たり、地域や学識経験者等の声や意見を反映させるため、2年度から3年度にかけて10回程度開催し、委員には就学前児童の保護者を含め地域の代表等、幅広い世代の方に協力してもらおう予定である。

問 スクールバス運行検討委員会について伺う。

答 元年度2回開催し、小中学校の通学距離と基準、利用者の範囲の指定方法等話し合った。運行の決定は2年度1学期を目途に検討会の議論をまとめ、教育委員会に諮る予定である。



人材育成

問 ボランティア等のデータベース化について伺う。

答 現時点ではできていないが、社会福祉協議会とのつぼが連携をとり、地域活動等に協力していただける個人や団体を登録する制度がある。

予算編成の方法

問 新規・廃止・削減事業の選択の基準について伺う。

答 限られた財源を有効に活用し、必要な事業に配分するため、事業の選択と集中を推進するとともに、要求に対しヒアリング等を行い、喫緊の課題等を優先的に取り組んでいる。所期の目的を果たしたと判断される事業は廃止、縮小を含め検討している。

問 予算編成のスケジューリングと、予算編成方針等の中で職員定数は示されているのか、また、編成過程を公開する予定はあるのか。

答 予算編成方針及び要領に基づき各課が所管部長と協議調整し予算要求を行い、財政課が要求内容を検証し、企画



教育の諸課題

問 ながふじ学府一体校の運営方法と課題について伺う。

答 ながふじ学府一体校は義務教育学校ではなく、小中学校のそれぞれの良さを生かした小中一貫教育を推進していく。豊田東小との連携も大切であり学府としてカリキュラムを十分検討していく。

問 ながふじ図書館の司書などの職員配置や役割、図書館の開業日や運営時間は。

答 司書を2名配置し、貸出しや図書整理など運営全般を行っていく。学校に合わせて平日の午前9時から午後4時30分の開館を予定している。

問 市内学校図書館のエアコン設置状況と今後の計画は。

答 小学校14校、中学校6校であり、令和4年度までに全校への設置が完了するよう計画的に整備している。

文化行政

問 国分寺跡史跡整備計画の内容と今後のスケジュールは。

答 金堂など主要な建物の基礎整備やあすまや設置などを

環境問題

問 灰溶融炉を使用しないことの検討経緯と結果、課題は。

答 令和3年3月末をもって稼働を休止する方針とした。休止による交付金への影響が課題と考えており、県を通じて現在協議を行っている。

問 豊田支所のギャラリー長藤の代替施設はあるのか。また新たなギャラリー整備計画について見解を伺う。

答 代替施設は中央図書館のほか他の公共施設を利用するよう文化協会と協議調整をしている。新たなギャラリーは市民文化会館跡地の施設に入れ込んでいきたい構想がある。



バリアフリーの取り組み

問 市役所の本庁舎、西庁舎及び支所や学校施設の現況と今後の取り組みを伺う。

答 本庁舎1階のような段差の解消ができていない箇所は、長寿命化工事を進める中で検討していく。障がいのある子どもが通常学級に入る際はスロープ等の設置をしている。

問 浜松市のパートナーシップ制度と市長会提案の県内同一制度の見通しを伺う。

答 現時点では一人の多様性を認め合う優しいまちの実現には、県内同一制度の取り組みが望ましいと考える。

市と市民の相互協力

問 大きな公共事業における市内の中小、小規模事業者の活躍について伺う。



答 元請業者から市内業者への発注状況は、(仮称)磐田市文化会館5者、ながふじ学府一体校10者である。全工事で入札公告時、下請負に市内業者の活用をお願いしている。

問 新型コロナウイルスの磐田市立総合病院の対応策について伺う。

答 疑いのある患者は感染症病床で入院加療となる。職員は防護服、マスク、手袋等の感染対策をして診療に当たる。

問 民生委員・児童委員の年齢要件について伺う。

答 県の方針に準じて75歳未満としているが、次期改選に向けて民生委員推薦会や自治会連合会とも協議し決定していきたい。

子育てと教育

問 幼児教育無償化後の保育ニーズ増の状況と保護者負担の現状について伺う。

答 社会的要因に無償化の影響も相まって、保育ニーズの高まりは続くと見込んでいる。保護者負担額は減少しており、無償化後に負担が増加する逆転現象は発生していない。

福祉・安全について／災害対策について／行政施策について



一括質問



公明党磐田 江塚 学 議員

福祉・安全

問 暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付事業に追加する取り組みは。

答 現時点で導入の考えはないが、先進事例等の情報収集に努める。検討結果は議会へ報告する形になると思う。

問 多剤服用（ポリファーマシー）対策の取り組みは。

答 磐田薬剤師会とケアマネジャーが連携を図り、ポリファーマシーについて研修会を実施している。また、磐田薬剤師会では、おくすり手帳を活用し、本人や関係機関に必要な説明を行っている。多剤服用している方に広く啓発する方法を研究していきたい。



問 キッズゾーンやキッズガードの取り組みは。

答 本市では設定していないが、園外保育などで日常的に利用する箇所について関係機

関と連携して点検を実施するとともに、昨年11月補正予算を確保し未就学児移動経路等へ必要な安全対策を講じていく。

災害対策

問 避難所運営キットを配備する考えは。

答 避難所の防災倉庫内に必要なマニュアル等をコンテナボックスに入れて保管している。しかし、災害時には市職員が避難所を開設する業務を担うことから現時点で地域へ説明は行っていないが、地域住民による避難所運営を始めため、今後、地域住民による避難所運営の体制づくりを進めていく中で検討していく。

行政施策

問 公用車に電気自動車を導入していく考えは。

答 現時点で導入は考えていないが、今後、災害時における活用や環境面への配慮などを考慮する中で必要性について検討、研究をしていく。

海岸防潮堤について／一般廃棄物の最終処分について／条例整備の今後の予定について／有害鳥獣に対する磐田市の対応について／飼い主不明の犬猫について



一括質問



きずなの会 鈴木 正人 議員

海岸防潮堤

問 工事の工法が、浜松市・袋井市・掛川市など近隣市と異なっているのはなぜか伺う。

答 本市の防潮堤整備は25年度に県と関係市で組織する静岡モデル推進検討会で決定したものである。盛り土工法は共通しているが、各市によって海岸の地形等が異なることから、整備工法や形状が異なっていると認識している。

問 災害に対処する事業であり、最優先される事業と考えるが市長の見解を伺う。

答 海岸防潮堤の整備は沿岸部の住民の生命や財産を守るため必要な事業と考えており、重要施策として位置づけている。今後もダンプトラック運行情量の住環境への影響を配慮する中で、一日でも早い完成に向けて取り組んでいきたい。

一般廃棄物の最終処分

問 廃棄物の県外搬出について、市長としての見解を伺う。

答 より効率的で安定的な処理やりサイクルが可能ならば、処理施設の場所にとらわれる



有害鳥獣

問 中心市街地のカラスの糞による各種被害状況と対策について伺う。

答 元年10月ごろからカラスの集団化が市街地で確認されており、糞に関する苦情が10件程度寄せられた。苦情に対しては、現地を確認し、家庭でできる対策をアドバイスしたほか、中部電力に電線への飛来防止工事の実施をお願いした。また、糞により歩道が著しく汚れた場合には、職員が清掃を行っている。

防災対策について／まちづくりについて



一括質問



きずなの会 小栗 宏之 議員

防災対策

問 市単独整備区域の防潮堤に植樹した樹木の生育の現状と今後の整備方針は。

答 大型台風などの影響により枯れた箇所は、補植を実施し、今後も定期的な確認と整備を行う。



植樹した防潮堤の現況（令和2年3月26日現在）

問 海岸保全工区の防潮堤整備の着工時期・工期、県との連携について伺う。

答 着工時期などは、県の技術的支援を受け行っている基本設計や今後の詳細設計で明らかになる。沿岸部の地区には、要望があれば状況などを会合等で丁寧に説明していく。

問 外国人への防災情報の伝達方法、多言語化等の現状と課題、今後の取り組みを伺う。

答 防災訓練の周知はチラシ

等で参加を促しているが、実施自体を知らない方もいるため、情報伝達についてはポルトガル語版いわたホットライオンでの配信を継続し、さらに細かな情報を提供していく。

問 日本人向け災害時多言語マニュアル作成について伺う。

答 まずは、外国人支援の方法を記載した避難所運営マニュアルや、避難所に配備した多言語シートを活用した訓練が行われるよう取り組みたい。

コンパクトシティ

問 交通ネットワーク構築の必要性について伺う。

答 居住誘導区域内は駅を中心としたバス路線、デマンド型乗合タクシーで網羅しているため新たな交通ネットワークは想定していないし、難しい状況である。

問 磐田駅周辺中心市街地の活性化策を伺う。

答 中心市街地の活性化は簡単にできることではない。地域の皆さんと一緒に、にぎわいづくりにつながる活動の支援をしていく。

子育て支援の充実策について／空き家対策、市営住宅について／危機管理、環境問題について



一括質問



日本共産党磐田市議団 根津 康広 議員

子育て支援センター

問 センター利用者との懇談を開催したが声をどのように受け止めたか。また今後にかすべき改善点はあったか。

答 子育て中の親子にとって安心できる居場所として定着し、大きな役割を担っていることを改めて実感した。今後伺った意見を参考に方向性を検討していきたい。

問 見付地区の選定状況と北部地区は独立した支援センターが必要と思われるが、今後の設置計画について伺う。

答 見付地区は候補地の選定中である。北部地区は移動型の支援センターの状況を見ながら検討していきたい。

問 配置を中学校区単位としてきた理由と地域バランス、機能性についての考え方は。

答 国が中学校区に一つの設置を目標としていることを踏まえ整備を進める考えであった。現在の利用状況は、利用者が子どもの興味や成長に合わせ複数のセンターを利用しており、現状を踏まえ検討していきたい。



東部地区の子育て支援センター建設予定地（旧新貝土地区画整理組合事務所）

新型コロナウイルス

問 検査体制、感染者を受け入れる医療機関の体制整備、相談窓口の設置について伺う。

答 関係機関が国の定める体制に基づき対応している。相談窓口は県西部保健所内に設置した帰国者・接触者相談センターのほか、国や県が設置した電話相談窓口がある。

問 市内産業、地域経済への影響や支援策は。

答 現在宿泊業を除き製造業等に大きな影響はないが今後影響が出ることを懸念している。支援策は県の制度融資に新型コロナウイルス感染症対策枠が設置され、本市の利子補給制度についても対応していく予定である。

磐田市の防災・減災対策の推進について／ 新たな時代の学校教育について



問
答



志政会 秋山 勝則 議員

防災・減災対策の推進

問 女性の視点も取り入れた避難所運営への準備状況、避難所運営マニュアルなどへの反映状況を伺う。

答 地域防災訓練で女性が避難所で過ごすための意見交換等を実施している地域もある。マニュアルには、仮設トイレなど女性の視点で配慮する必要性を記載しているが、施設の使用方法など課題は多いと認識している。具体にはこれから地域に入っているいろいろ検討していきたい。

問 避難所のペットに関するルールづくりと取扱い等について周知の状況を伺う。

答 各避難所でペットスペースを確保しているが、居住性やルール等に多くの課題がある。ペット対応の必要性は今後も避難所運営会議等を通じて地域に周知し、一緒に考えていきたい。

問 地域防災力向上に対する現状や課題、取り組みを伺う。

答 本市の重点項目を示し、地域で自主的な訓練を実施している。課題は、自主防災会

子ども達が勉強以外での輝ける場

問 学校行事や競技会、コンクールなどについて、教育委員会での考え方を伺う。

答 本市ではコミュニティスクールを実践し、地域と共に教育計画等を話し合い、大会や発表会等、子どもたちの活躍の場を設けている。もう一度、行事等を総合的に考え、子どものために最善を尽くせる方を地域と学校が話し合っていたらとありがたい。



令和元年12月の
地域防災訓練の様子

長の多くが1年の任期で、継続的な積み上げが難しいことである。訓練や啓発を通じて地域の防災組織を支援するとともに、市民活動団体と地域を繋ぎ、現状や課題を共有できる環境を支援していく。

磐田市の外郭団体について／磐田市の諸課題について



問
答



志政会 岡 實 議員

竜洋環境創造株式会社の解散

問 令和3年3月31日をもって解散予定であった。設立や解散の経緯と理由、評価は。

答 平成10年に第三セクターとして、昆虫公園などの施設管理、運営を主な目的として設立した。20年が経過し経営理念の地域貢献を達成したことから会社解散を決定した。評価は、来場者数の増加など、本市の知名度向上に大きく貢献したと考えている。



竜洋昆虫自然観察公園

問 解散の場合の市の関与、対応と進め方、職員の処遇は。

答 解散手続は会社が主体的に対応することになるが、市も円滑な解散に向けて連携をしていく。職員の処遇については、継続雇用を希望する職員は、現在の健全な経営状況

を維持するためにも次期指定管理者選定において雇用を絶対条件としていきたい。

教育の情報化の推進

問 GIGAスクール構想の概要と市の考え方や対応は。

答 構想の目的は、日々の教育活動の中で1人1台端末の使用環境をつくり、授業改善を図り、児童生徒の力を最大限に引き出すことである。国は校内の高速・大容量の通信ネットワーク環境整備の補助、令和5年までに1人1台端末整備に1台当たり最大4万5千円を補助する方針を示した。市は国の示す方向を精査し慎重に対応していきたい。

問 令和5年度を目途に全国学力学習調査の出題・解答をパソコン方式に全面移行する動きがある。市の基本的な考え方や対応等は。

答 文部科学省は検討や準備を進め、早期実現を目指している。本市でも児童生徒が文字入力などのパソコン操作や画面の読み取りなどの情報活用能力を育成し対応していく。

磐田市地域公共交通網形成計画・デマンド型乗合タクシーについて



問
答



志政会 網村 和弘 議員

地域公共交通網形成計画

問 路線バス東新町系統に関する退出の延期を再度事業者に要望できないか。

答 継続的に運行事業者を訪問し、JR御厨駅への乗り入れも含めた運行継続の要望を重ねてきたが、駅開業後の大幅な利用拡大は見込めないと判断から、事業者の退出の意向は固いことを確認している。

問 磐田新駅周辺における自主運行バス、コミュニティバス、地域協働バス等の検討は。

答 デマンド型乗合タクシーを維持・拡充していくことが最優先と考えており、現時点ではそうした移動手段は考えていない。



JR御厨駅南口のロータリー

問 高齢者の移動手段の確保

について、自家用車移送が有償ボランティアで事実上認められた。地域支え合い制度の幅が広がったと考えるが見解を伺う。

答 事業の実施までに多くの課題があることから、地域から要望があれば情報提供や相談など必要な支援は行っていきたい。

デマンド型乗合タクシーの促進

問 路線バスに変わって地域の足としての一部を補充できても全てを補充することには無理があると思うが考えは。

答 路線バスの全てを補充することはできないが、高齢者や障がい者などの最低限の移動手段として大きな役割を果たしていることを認識している。

問 利用者の要望などを聞き、改善対応を行う機会、改定時期はどうなっているのか伺う。

答 路線ごとの利用促進検討会や民生・児童委員の会合等で意見や要望を集約している。制度に反映できるものは地域公共交通会議に諮り随時改定している。

Information ①

議会の傍聴について

本会議・委員会は当日の受付で傍聴できます。本庁舎5階の議会事務局までおこしく下さい。
なお、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、傍聴の際は次の事項にご協力をお願いします。

1. マスクを着用してください。
2. 傍聴受付や議場及び委員会室入り口に設置されている消毒液で必ず手指の消毒をしてください。
3. 発熱等風邪の症状のある方や、体調のすぐれない方は傍聴をお断りしています。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、傍聴を規制することがあります。

また、本会議の様子は、インターネットで映像配信しておりますのでご利用ください。

議会フェイスブックで 情報をお届けします

市議会をより身近に感じていただくため、フェイスブックで市議会の活動を発信し、情報をお届けしています。

ぜひ、アクセスしてご覧ください。

URL: <https://www.facebook.com/iwata.gikai>



スマートフォン等からも 議会を視聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。



2/6 シニアクラブ磐田市と意見交換会を実施

民生教育委員会はシニアクラブ磐田市と意見交換会を行いました。シニアクラブから会の状況や、活動等の現状を報告いただくとともに、懇談を通じ、活動に対するお互いの理解を深めました。



2/20 岩田小学校6年生の児童が議会見学に来ました

岩田小学校6年生の児童21名が、社会科教育の一環で、定例会初日に議会の見学を行いました。真剣なまなざしで議会を傍聴していました。



2/20 バリアフリー化された議場で本会議が行われました

議場フロア改修工事により、議場内をバリアフリー化し、議員や傍聴者が車椅子で円滑に移動できるようになりました。



傍聴席からの議場の様子



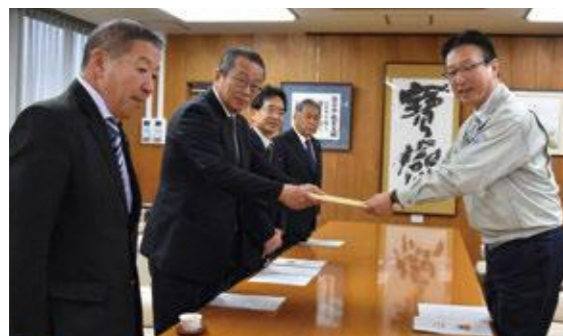
議場内のスロープ



車いす対応の傍聴席

3/27 議会報告会の実施報告書の提出

議長から市長へ、議会報告会で市民の皆様から頂いた御意見を集約し、報告書を提出しました。



Information ②

セブンイレブンに議会だよりを配架しております

市と包括協定を締結したセブンイレブンと連携し、幅広い年代の店舗利用者にも市議会の活動等を知っていただくため、市内各店舗にて、磐田市議会だより「いわた羅針盤」を配架しております。



市議会にお寄せいただいたご意見を紹介します

平成31年4月から令和2年3月までの間に、市議会ご意見ポストにお寄せいただいた市民の皆さまからのご意見と回答の一部を紹介します。



農業政策・北部振興策について

ご意見 北部地域（向笠、大藤、岩田）に学府一体校ができる予定と聞きました。しかし、農地から転用できない農業振興地域が多く、宅地開発に伴う人口増加が見込めません。いい学校を造っても児童生徒数は減少していきます。また高齢化が進み、耕作放棄地は増えていきます。売ることもできず、固定資産税を年金から払い続けるだけです。農業振興や保護は、農家には必要ですが、廃業した家庭には負担しか残りません。北部地域の振興策、農業政策をご検討いただきたい。

回答 北部地域の振興策と農業政策の2点で回答させていただきます。

1点目の北部地域の振興策は、人口減少や高齢化社会対策の一環と捉え、人口維持・雇用の創出・コミュニティの維持に重点を置いています。人口維持は、使用しない土地等を分割し、分譲宅地としての活用を支援しています。雇用の創出は、幹線道路沿いを産業拠点に位置付け、民間の工場や流通業務施設の誘導を図っています。コミュニティの維持は、集落内は小規模なスーパーや金融機関等の日用品店舗の立地を可能としています。

2点目の農業政策は、農業者の高齢化による耕作放棄地の増大は大きな課題と捉えています。そのため、担い手農業者への農地集積や、管理に困っている農地所有者と、経営拡大志向の農業者のマッチングなどを進めています。所有されている農地の管理についてお困りのことがございましたら、一度農林水産課へご相談いただくこともよいと考えます。今後も耕作放棄地の解消と発生抑制の抑制に取り組み、農地の有効利用が図られるよう注視してまいります。

市議会だよりの

年号表記について

ご意見 市議会だよりの年号表記が西暦のみとなっています。次号からの「いわた羅針盤」をはじめ、磐田市が発行する公文書・広報紙での年号表記は元号で願います。

回答 市議会だよりの年号表記については、元号の使用を義務付ける法令は無いものの慣行的にこれまでは、基本的には和暦で表示していました。

しかし、このたびの改元に伴い5月1日発行のNo.70号につきましては、改元の施行日前に編集作業を行うことや、配布の関係で4月中に届けられる家庭もあることから、年号表記について広報広聴委員会で協議を行いました。

その結果、今後は表紙の発行日の年号表記については西暦で表記し、裏表紙の左隅以外の部分については従来どおり和暦を用いることといたしました。

議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするための「ご意見ポスト」は、本庁舎1階と5階に設置しています。

また、議会ホームページのメールフォームを利用できます。



左記2次元コードを読み込むと専用フォームのページに移動します。また、パソコンやスマートフォン等から入力も可能です。



審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 元年度一般会計補正予算（第7号）
- (2) // 一般会計補正予算（第8号）
- (3) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (4) // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- (5) // 病院事業会計補正予算（第1号）
- (6) 2年度駐車場事業特別会計予算
- (7) // 国民健康保険事業特別会計予算
- (8) // 介護保険事業特別会計予算
- (9) // 広瀬財産区特別会計予算
- (10) // 岩室財産区特別会計予算
- (11) // 虫生財産区特別会計予算
- (12) // 万瀬財産区特別会計予算
- (13) // 水道事業会計予算
- (14) // 下水道事業会計予算
- (15) // 病院事業会計予算
- (16) 自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定
- (17) 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正
- (18) 監査委員に関する条例等の一部改正
- (19) 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- (20) 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- (21) 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正
- (22) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (23) 印鑑条例の一部改正
- (24) 情報館条例の一部改正
- (25) 手数料条例の一部改正
- (26) 国民健康保険税条例の一部改正
- (27) 市立保育園条例の一部改正
- (28) 磐田都市計画鎌田第一地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- (29) 市営住宅条例の一部改正
- (30) 再開発住宅条例の一部改正
- (31) 農業集落排水処理施設条例の一部改正
- (32) 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (33) 小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例等の一部改正
- (34) 消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部改正
- (35) 磐田市と袋井市との間の湛水防除事業の事務委託に関する規約の変更
- (36) 財産の譲渡
- (37) 市道の路線認定
- (38) 新駅設置等工事及び造営工事委託に関する協定の変更
- (39) 元年度一般会計補正予算（第9号）
- (40) 人権擁護委員の候補者推薦の同意

■意見の分かれた議案

件名	会派名	志政会 12人(※)	新磐田 4人	きずなの会 4人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党 磐田 2人	社民・明るい 暮らしの会 1人	結果
2年度一般会計予算 (修正案)		○	○	○	×	○	○	可決
2年度一般会計予算 (修正部分を除く原案)		○	○	○	×	○	○	可決
2年度後期高齢者医療 事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	可決

※志政会の会派人数は12人ですが、採決は寺田幹根議長を除いた11人で行います。 ○：賛成 ×：反対

■その他 (1) 閉会中の継続調査 (2) 市議会議員の派遣

5月臨時会の予定

(5月18日～5月25日)

日	月	火	水	木	金	土
5/3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
	← 本会議 (議案上程ほか)					
24	25	26	27	28	29	30
	← 本会議 (採決)					

※いずれも午前10時から
日程は変更する場合があります。
聴覚障がい者の皆様の議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

表紙の写真

静岡県立磐田農業高等学校 3年生
写真部 **小杉 竜斗** さん

磐田農業高校に入学してから、植物に興味を持つようになりました。この作品は朝日を受けたバラの花を逆光で撮影するとどのようなか試したときに撮れた一枚です。偶然にも花の間から朝日が漏れて、素敵な瞬間を撮ることができました。
(磐田農高バラ園の一般公開について、2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止します。)



新型コロナウイルスの真の恐怖は疾病等ばかりではなく、市民生活に対する影響もとても大きいものがあります。国の支援を待つばかりでなくお互いに助け合いそれぞれで出来る事を探す機会ではないでしょうか。

議会としても皆様と力を合わせてこの難局を乗り切って行きたいと考えていますので、市民皆様の声を是非ともお寄せ下さい。
(鈴木正人)

【広報広聴委員会】

- 委員長：高梨俊弘
- 副委員長：小柳貴臣
- 委員：秋山勝則、江塚 学、鈴木正人、加藤文重、寺田辰蔵

今回は**7月1日**発行予定です。

※前号の特集「民生委員・児童委員の活動」の役職名は、取材日時点の役職を表記しておりますことをご了承ください。